

計 算 書 類
(公告対象)

第39期

自 2022年 4月 1日

至 2023年 3月31日

スターキャット・ケーブルネットワーク株式会社

貸借対照表

(2023年3月31日現在)

(単位：千円未満切り捨て)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
流 動 資 産	2,884,918	流 動 負 債	3,580,065
現金及び預金	110,600	買掛金	661,017
売掛金	1,842,437	1年以内返済予定長期借入金	399,984
商品	2,889	未払金	1,337,937
貯蔵品	11,857	未払法人税等	69,422
番組勘定	1,931	未払消費税等	26,127
前払費用	673,974	未払費用	67,767
短期貸付金	97,627	前受収益	376,150
未収入金	43,212	契約負債	487,397
未収消費税等	19,689	預り金	8,115
その他	106,293	賞与引当金	146,146
貸倒引当金	△25,596		
固 定 資 産	10,283,334	固 定 負 債	1,198,290
有形固定資産	9,558,434	長期借入金	552,812
ヘッドエンド設備	124,140	退職給付引当金	185,862
自主放送設備	146,211	役員退任慰労引当金	57,479
幹線設備	4,755,622	資産除去債務	90,664
建物	2,133,071	長期前受収益	311,471
構築物	6,834		
機械装置	1,547,694		
工具器具備品	79,349		
土地	747,079		
建設仮勘定	18,430		
無形固定資産	56,994	負 債 合 計	4,778,355
ソフトウェア	52,765	(純資産の部)	
電話加入権	2,472	株 主 資 本	8,389,896
その他	1,756	資本金	2,685,005
投資その他の資産	667,905	資本剰余金	2,663,531
投資有価証券	65,000	資本準備金	2,339,683
出資金	20	その他資本剰余金	323,848
長期前払費用	419,656	利益剰余金	3,041,360
差入保証金	115,489	利益準備金	4,000
繰延税金資産	67,739	その他利益剰余金	3,037,360
その他	10,977	繰越利益剰余金	3,037,360
貸倒引当金	△10,977		
		純 資 産 合 計	8,389,896
資 産 合 計	13,168,252	負債及び純資産合計	13,168,252

損 益 計 算 書

〔 自 2022年4月 1日
至 2023年3月31日 〕

(単位：千円未満切り捨て)

科 目	金 額	
売 上 高		11,825,498
売 上 原 価		6,813,322
売 上 総 利 益		5,012,176
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費		4,260,350
営 業 利 益		751,826
営 業 外 収 益		
受 取 利 息 及 び 配 当 金	8,373	
そ の 他	1,918	10,292
営 業 外 費 用		
支 払 利 息	2,244	
そ の 他	1,102	3,347
経 常 利 益		758,771
特 別 利 益		
固 定 資 産 売 却 益	408	
そ の 他	5,392	5,800
特 別 損 失		
固 定 資 産 除 却 損	53,910	53,910
税 引 前 当 期 純 利 益		710,661
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税	142,607	
法 人 税 等 調 整 額	41,996	184,603
当 期 純 利 益		526,057

個 別 注 記 表

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

1. 資産の評価基準及び評価方法

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

その他有価証券

市場価格のない株式等

: 移動平均法による原価法

(2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

①商品

: 先入先出法による原価法（貸借対照表価額は収益性の低下による簿価切下げの方法により算定）

②貯蔵品

: 先入先出法による原価法（貸借対照表価額は収益性の低下による簿価切下げの方法により算定）

③番組勘定

: 個別法による原価法（貸借対照表価額は収益性の低下による簿価切下げの方法により算定）

2. 固定資産の減価償却の方法

(1) 有形固定資産(リース資産を除く): 定額法

なお、主な耐用年数は以下のとおりであります。

幹線設備

6年～15年

建物

2年～50年

機械装置

2年～15年

(2) 無形固定資産

: 定額法

なお、自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間（5年）に基づく定額法を採用しております。

(3) リース資産

: **【所有権移転外ファイナンス・リース】**

所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産については、リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。

(4) 長期前払費用

: 均等償却

3. 引当金の計上基準

(1) 貸倒引当金

: 売上債権等の貸倒損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。

(2) 賞与引当金

: 従業員に支給する賞与の支出に充てるため、当事業年度末における支給見込額に基づき計上しております。

(3) 退職給付引当金

: 従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務の見込額に基づき計上しております。

(4) 役員退任慰労引当金

: 役員の退任慰労金の支給に備えるため、内規に基づく当事業年度末要支給額を計上しております。

4. 収益及び費用の計上基準

当社は、有線テレビジョン放送サービス、インターネット接続サービス、電話サービスを提供しており、契約期間にわたり、契約者へのテレビ、インターネット及び電話回線の提供を行うことを履行義務として負っており、月額基本使用料及び通信料を毎月の収益として計上しております。

なお、契約者から初期費用として受領する契約事務手数料収入および工事料収入並びにこれに係る直接原価については、契約者の見積平均契約期間にわたり、また電波障害対策工事料収入及びこれらに係る直接原価については、保証期間にわたり、収益及び費用として計上しております。

また、映画事業における興行収入及び配給収入については、約束したサービスの支配が顧客に移転した時点で当該サービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を計上しております。なお、映画事業における一部の取引のうち、当社が代理人として物品の販売及び映画配給に関与している場合、物品販売取引は顧客より受け取る額から仕入れ先への支払額を控除した純額で、また配給収入取引については、配給先の控除額及び著作権権利者への支払額を控除した純額で収益を認識しております。

(収益認識に関する注記)

収益を理解するための基礎となる情報については、「重要な会計方針に係る事項に関する注記」の「収益及び費用の計上基準」に記載のとおりであります。

なお、当事業年度に認識された収益のうち、期首の契約負債に含まれていた金額は 83,398 千円であります。

(会計上の見積りに関する注記)

会計上の見積りにより当事業年度に係る計算書類にその額を計上した項目であって、翌事業年度に係る計算書類に重要な影響を及ぼす可能性があるものは、次のとおりです。

繰延税金資産	67,739 千円
--------	-----------

(貸借対照表に関する注記)

- | | |
|-----------------------|---------------|
| 1. 有形固定資産の減価償却累計額 | 21,337,501 千円 |
| 2. 関係会社に対する金銭債権及び金銭債務 | |
| 短期金銭債権 | 110,255 千円 |
| 短期金銭債務 | 207,192 千円 |

(損益計算書に関する注記)

関係会社との取引高	
営業取引による取引高	
売上高	81,619 千円
仕入高	1,395,617 千円
その他の営業費用	170,043 千円
営業取引以外の取引高	72,381 千円

(税効果会計に関する注記)

繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別の内訳

繰延税金資産	
減価償却費	73,825 千円
貸倒引当金	11,191 千円
賞与引当金	44,720 千円
退職給付引当金	56,873 千円
資産除去債務	27,743 千円
役員退任慰労引当金	17,588 千円
減損損失	2,872 千円
契約負債	74,349 千円
その他	24,188 千円
繰延税金資産小計	333,353 千円
評価性引当額	△219,866 千円
繰延税金資産合計	113,487 千円
繰延税金負債	
資産除去債務	△16,927 千円
前払費用	△28,820 千円
繰延税金負債合計	△45,747 千円
繰延税金資産の純額	67,739 千円

(金融商品に関する注記)

1. 金融商品の状況に関する事項

当社は、資金運用については短期的な預金等及びグループファイナンス制度を利用した関係会社への貸付金に限定し、また、銀行等金融機関からの借入及び上記制度を利用しての関係会社からの借入により資金を調達しております。

営業債権である売掛金に係る顧客の信用リスクに関しては、与信管理のルールに従い期日管理及び残高管理を行う等リスク管理を実施しております。

営業債務である買掛金、未払金は、1年以内の支払期日であります。

長期借入金、リース債務は主に設備投資に係る資金調達であります。

長期借入金、リース債務は主に固定金利であるため、支払金利の変動リスクは軽減されております。

また、営業債務や借入金は流動性リスクに晒されていますが、月次に資金繰計画を作成するなどの方法により管理しております。

なお、当社はデリバティブ取引を実施しておりません。

2. 金融商品の時価等に関する事項

2023年3月31日（当事業年度の決算日）における貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。なお、現金は注記を省略しており、預金は短期間で決済されるため時価が帳簿価額に近似することから、注記を省略しております。

（単位：千円未満切り捨て）

	貸借対照表 計上額（*）	時価（*）	差額
（1）売掛金	1,842,437	1,842,437	—
（2）買掛金	(661,017)	(661,017)	—
（3）未払金	(1,337,937)	(1,337,937)	—
（4）長期借入金	(952,796)	(943,275)	(9,520)

（*）負債に計上されているものについては、（ ）で示しております。

（注）1. 金融商品の時価の算定方法に関する事項

（1）売掛金

短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

（2）買掛金及び（3）未払金

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

（4）長期借入金

時価については、元利金の合計額を、新規に同様の借入を行った場合に想定される利率で割り引いて算定する方法によっております。

2. 市場価格のない株式等（貸借対照表計上額 65,000 千円）は、記載しておりません。

(関連当事者との取引に関する注記)

親会社及び法人主要株主等

種類	会社等の名称	議決権等の所有(被所有)割合	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額(千円) (注1)	科目	期末残高(千円) (注1)
親会社	(株)コミュニティネットワークセンター	被所有 直接 100%	番組購入、回線使用及び電話受付業務委託等	サービス提供に関わる設備の購入 (注1)	70,251	未払金	45,152
				伝送路賃貸等 (注1)	81,619	売掛金	11,163
				番組購入・回線使用及び電話受付業務委託等 (注1)	1,395,617	買掛金 未払金	125,552 36,488
				資金の貸付 (注2)	337,264	短期貸付金	97,627
				資金の借入 (注2)	6,142	短期借入金	—
				借入金の返済 (注3)	997,460	一年以内返済 長期借入金	—

(注) 1. 上記取引に際しては、市場実勢価格を勘案し、価格交渉の上で決定しております。

2. 当社は、資金管理の効率化を図ることを目的として、親会社である株式会社コミュニティネットワークセンターが運営しているCMS(キャッシュ・マネジメント・システム)を導入しており、資金の貸付及び借入の取引金額は、当事業年度の平均残高を記載しております。なお、利率は市場金利を勘案して合理的に決定しております。

3. 資金の借り入れについては、借入利率は市場金利を勘案して合理的に決定しております。なお、担保の提供はありません。

(1株当たり情報に関する注記)

- | | |
|---------------|-------------|
| 1. 1株当たり純資産額 | 125,409円52銭 |
| 2. 1株当たり当期純利益 | 7,863円34銭 |

(重要な後発事象に関する注記)

該当事項はありません。

以上